令和2年5月15日(金)

自分と大切な人の命を守りましょう！「3密」(密閉・密集・密接)を避けて、うがい、手洗いを忘れずに！

“ふるさとちば”のための政策推進を

たけだ正光(まさみつ)県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号　電話043(227)7411

武田県議 学力向上にどう取組むか

2月議会予算委員会に登壇

流山市選出で県議4期目に入り、自民党県議団の中でも活発な議会活動が際立つ武田正光(たけだ・まさみつ)県議は、新年度予算案を審議する2月定例県議会の予算委員会質疑に登壇しました。武田県議は、全国学力・学習状況調査の結果で、本県の小・中学生の学力が年々低下傾向にあることを憂慮し、学力向上に向けた県教委の取り組みをただしました。その他、つくばエクスプレスの混雑緩和の解消に向け、車両8両化の早期実現を重ねて訴えました。武田県議の主な質疑を特集しました。

予算委員会の質疑に立つ武田県議

本県は年々下降傾向

武田委員　本県の全国学力・学習状況調査の結果が年々下降傾向にあります。県教育委員会では、今後の学力向上に向けて、9月に授業改善に資するためのリーフレットを、県内すべての小・中学校に配布したと聞いています。

そこで伺います。リーフレットの配布後、どのように授業改善を進めるための取り組みを実施したのか。

澤川教育長　昨年9月に作成したリーフレットですが、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた、授業改善のキーワードとして、「自分の言葉で学習のまとめを書く」ことを県内のすべての小中学校にお示ししたところです。

これを受けて、県内6会場で実施した学力向上交流会では、延べ約1500名の教職員が参加し、この授業公開の中で授業の終わりをまとめて書く活動を取り入れてもらい、これを見学したり、課題となっている記述力を高めるための各学校の取り組みについて、参加者全員による討議を行ったところです。

学習サポーターの派遣

武田委員　学力向上総合プランの具体的な取り組みはどうか。

澤川教育長　学力向上総合プランの2つの柱の1つ目は、派遣校から好評を得ている学習サポーター派遣事業について、令和2年度当初予算案で約1億3千万円を計上しています。退職教員、教員を志望する大学生等を派遣することで、きめ細かな学習支援を行なうことにしています。

2つ目の柱である教員の授業改善の促進のための主な取り組みとして、来年度から新たに学習指導に優れた教員140名程度を「授業づくりコーディネーター」として認定し、彼らが地域の教員に対する授業公開、または授業づくりの助言を行うことで、県全体の教員の指導力向上を図ってまいります。

(仮称)三郷流山橋工事 渡河部

要望　**「千葉県に住めば成績が上がる」となることを目指してほしい。全国学力・学習状況調査では、まずは、全部平均以上にするなど、しっかりと目標を持って、千葉県児童の学力向上のために、成果が上がる、より一層の取り組みをお願いします。**

つくばエクスプレス 8両化の早期実現を要望

武田委員　つくばエクスプレスを運行する首都圏新都市鉄道㈱は、車両の8両化事業に取り組むことを決定していますが、8両化が実現する時期は2030年代前半になるとのことです。

実現に当たっては、8両化に対応するためにホームを延伸する必要がありますが、この工事を行うには様々な制約があり、完成するまでにこのような長い時間が必要だと聞いています。

しかし、この先10年間はあまりにも長いという地元利用者の声も多いことから、早期に混雑緩和を図り、利便性を高める必要があると考えます。そこで伺います。8両化の実現は、もっと早くならないか。

総合企画部長　会社によると、8両化の実現には、資材の搬入経路が限定されていることや、営業外の限られた時間で通常の保守点検作業と並行して工事を行う必要があることなどの制約があり、10年を超える期間を予定しているとのことです。

会社からは、8両化は重要な事業と認識しており、早期実現に向け、今後の技術の進展等も念頭に置きながら、可能な限り工期縮減に努めていくと聞いています。

要望　**8両化について、現在の朝のラッシュ時の状況をみると、8両化が2030年代ではあまりにも遅いと考えます。遅れる理由は技術的な問題ですので、どうか英知の結集を図っていただき、早期の8両化を要望します。**

つくばエクスプレスの利便性の良し悪しは、県施行のつくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業、運動公園周辺地区、令和11年度完成の予定ですが、県事業の進捗にも大きな影響を与えます。関係団体が多く、様々な配慮が必要とは思いますが、どうか千葉県にはもう一歩積極的な働きかけをお願いしたいと思います。

市野谷の森公園

1期区域の進捗率8割以上

質の高い緑地空間創出

質疑者席から発言を求める武田県議

武田委員　流山市のほぼ中央に位置する市野谷の森公園は、オオタカをはじめとする多様な動植物を保全し、住民が身近な自然と触れ合い、安らぎを得る場として計画されました。

今までも同区域内で、市や地域団体により、環境保全や啓発活動が行われるなど、本公園への市民の期待が高まっています。県は現在、そのうちの一期区域約3・7ヘクタールについて、令和2年度の概成、令和4年度の事業完了に向け取り組んでいます。そこで伺います。一期区域整備にかかる新年度の事業内容はどうか。

森田知事　つくばエクスプレスの流山おおたかの森駅西側に位置する市野谷の森公園は、自然の質を損なうことなく、より質の高い緑地空間の創出を目指して、保全・利用を図っていくことを基本理念に整備を進めています。

これまでの修景池工事に続き、今年度は広場の造成工事を行っており、来年度は駐車場の整備や一期区域全域の植栽工事等を予定しています。

オオタカ営巣に配慮

武田委員　残り区域の事業化に向けた取り組みはどうか。

森田知事　一期区域については、2月から6月までのオオタカの営巣期間に配慮しながら工事を進めてきましたが、事業費ベースの進捗率で8割以上となっています。

残り区域については、既存樹林の保全が中心となりますが、事業化に当たっては、一期区域の整備完了後に進めることにしており、令和2年度から地元市や関係地権者のご協力も得て、事業化に向けた準備を進めていきたいと考えています。

武田委員　残り区域の事業化に向けた準備の内容と予算の措置状況はどうか。

都市整備局長　事業化に当たっては、都市計画法に基づく公園事業の認可を国から受ける必要があることから、認可申請に必要となる用地調査や測量等の予算として4千万円を計上しています。

要望　**市野谷の森公園」早期実現を求める1万5千を超える署名を提出したことはご承知のとおりと思います。早期完成のために、どうかより一層の整備促進をお願いします。また、関係地権者への情報開示もマメにお願いします。**

武田委員　しながら、他県の例などの情報収集を行っていきたいと考えています。

要望　**米国では、CDRによって示された提言が実行されていると聞いています。日本でもCDRの早い制度化が望まれるものであり、県でも制度導入に向け、円滑な実施ができるよう、体制の整備等をしっかりと行ってもらいたい。**

また現在、すでに千葉大学法医学教室が中心となって、年に数回CDRを開催しています。これに対し、県庁の関係部署も積極的に関わっていただき、2年後の運用に向けての準備を整え、制度化に備えて研究を進めていただきたい。

児童虐待防止へ向け子供の死因究明を提言

武田委員　「チャイルド・デス・レビュー」（CDR＝子どもの死因究明）は、事故や病死など、子どもの全死亡例について、その原因や背景等を検証し、予防可能な子どもの死亡を減らすことを目的とするものです。

米国では約40年前から実施されていますが、日本ではようやく国の施策としての検討が始まり、来年度「子どもの死因究明体制整備モデル事業」が実施されると聞いています。

チャイルド・デス・レビューにより、これまで見過ごされてきた虐待死なども明らかになることで、虐待防止にも寄与するものと考えます。

そこで、伺います。国が実施する同モデル事業とはどのようなものか。

健康福祉部長　児童虐待や事故による子どもの死亡を防ぐ目的で、都道府県に医療機関や行政、警察等の関係機関による調整会議を設置し、また、子どもの死亡情報の収集体制を整備するとともに、有識者等による検証委員会を設置し、死因を多角的に検証し、併せて再発防止策等の提言を行うものとなっています。

来年度は5団体程度で試行的に実施するものと聞いています。

武田委員　本県でCDRを進めるにあたっての課題は何か。

健康福祉部長　県内の18歳未満の年間死亡者数は、平成30年で193名となっており、そのほとんどの死亡例の検証が必要となる本事業の実施に当たっては、体制の整備などの課題があるものと考えています。

今後も、国の動向を注視しながら、他県の例などの情報収集を行っていきたいと考えています。

東葛テクノプラザ

武田委員　東葛テクノプラザは設立から20年が経過し、この間も産業構造に変化が生じていますが、入居状況はどうか。

商工労働部長　東葛テクノプラザは、貸研究室を51室備えており、現在、45室の入居がありますので、88％の入居率となっています。産業構造が変化する中で、入居率は開業当初から、概ね90％と高く推移しており、これまでに178社の中小・ベンチャー企業等が利用しています。

武田委員　どのような分野の企業が利用しているのか。

商工労働部長　入居企業を分野別にみると、バイオ分野が32％、素材分野が22％、機械分野が16％で、近年はバイオや素材分野が増えています。

例えば、「エネルギー効率の高い植物工場の開発」や「新国立競技場でも採用された木材の防腐処理技術の開発」を行う企業等が入所しています。

要望　**引き続き、東葛地区そして千葉県全体の経済発展のためにお願いいたします。**

たけだ正光県議 プロフィール

経　歴

- S44　8月生まれ
- S57　流山市立八木南小卒業
- S60　流山市立八木中卒業
- S63　専修大学松戸高校卒業
- H4　中央大学商学部卒業 公認会計士
- H19 千葉県議会議員選挙初当選
- H23 2期目当選　県土整備常任委員会委員長
- H25、26 環境生活警察常任委員会委員長
- H27 3期目当選
- H30 予算委員会副委員長
- H31 4期目当選

現　職

自民党千葉県連青年局 相談役
児童虐待防止対策プロジェクトチーム座長

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください
たけだ 正光 県議事務所
〒270-0163
流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518
FAX.020-4666-1033
ホームページ　たけだ正光 検索
http://www.takeda-hashiru.com